

10/25
田中
M10

駆け付け警護 訓練を初公開

武器使用は見送り

陸自、岩手の演習場



陸上自衛隊は二十四日、「任務として可能になった
安全保障関連法に基づき新「駆け付け警護」と「宿営

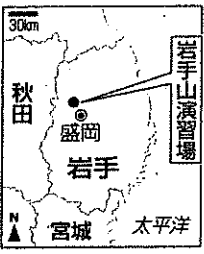
報道陣に初公開された陸上自衛隊の「駆け付け警護」の訓練＝24日午後、岩手県の岩手山演習場で

地の共同防衛」の訓練を、岩手県の岩手山演習場で報道陣に初めて公開した。十一月から南スーダンの国連平和維持活動（PKO）に派遣される十一次隊の要員が事態に対処する手順の一端を示したが、武器使用の場面は含まれなかった。

政府は第九師団第五普通科連隊（青森市）が主力の十一次隊に新任務を付与する方針を固めており、訓練は最終段階とみられる。現地情勢や訓練の習熟度を勘案し、十一月中旬にも、新任務を活動内容に加えた実施計画を閣議決定する方針だ。

駆け付け警護の訓練は、仕事を求める南スーダンの群衆が道をふさぐなどしたため、国連職員二人が付近の建物から外に出られなくなったとの想定。PKO司令部の要請を受けた自衛隊員約二十人が軽装甲機動車で駆け付け、拡声器で警告。防護盾を持った隊員が近づくこと、群衆はそのまま退散した。

この日の訓練では、不快な音を出して相手をひるませる「長距離音響発生装置」（LRAD）と呼ばれる機器も使用した。



安全保障関連法の 新任務 安保法で歴 代政権が禁じてきた集団的 自衛権行使が可能になるな ど、自衛隊任務が大幅に拡 大した。国連平和維持活動 （PKO）で駆け付け警護 と宿営地の共同防衛が可能 になったのも、その一環。

他に平時からの米艦防護や在外邦人の救出もできる。従来、米軍を想定していた後方支援は対象国を拡大し、弾薬提供や発進準備中の戦闘機への給油など支援内容も拡充した。稲田朋美防衛相が8月、ほぼ全ての新任務について訓練に着手すると表明。11月には安保法の内容を初めて反映させた日米共同統合演習も予定されている。

宿営地の共同防衛では、外壁近くに水や食料を求める住民が集結。棒を持ちながら他国軍に石を投げたり、小銃を持ち出したりしたため、近くに宿営地を設けた自衛隊員が英語で投石などをやめて離れるよう警告する流れを確認した。

いずれの任務も武器使用の可能性があるが、陸自は「手の内を明かすことにならない」として現段階で武器を使う場面の公開予定はないとしている。

十一次隊要員は八月二十五日から派遣準備訓練を開始。関係法令や現地情勢など基礎知識を習得した上で、九月十四日から駆け付け警護などの実動訓練を非公開で行った。十月二十三日には警告射撃で暴徒を追い払う訓練を非公開で実施し、稲田朋美防衛相が視察していた。